

I. CAP(子どもへの暴力防止)プログラム提供事業



1. 主な活動実績

悲惨な虐待事件が報道されている。救えなかった命は無念でならない。私たちはこういった暴力を根絶するために、子どもたちに権利を伝え、おとなには子どもたちの SOS に気づき、その話を聴くために、CAP 事業を続けてきた。今年度、エンパワメントかながわが神奈川県内の子どもとおとなに届けた CAP ワークショップは、160 回となった。

①寄付によって CAP プログラムを提供する仕組みづくりとして、「1 万人の子どもに CAP を届けるキャンペーン」事業を引き続き行った。

- ・2018 度は県内の小学校 CAP キャンペーンで、16 校 43 クラスの小学生 1294 人の子どもに CAP を提供した。2014 年 9 月に開始した本キャンペーンでの受講者総数は、7239 人となった。
- また今年度は、新たに 544,250 円を本キャンペーンのために寄付を得た。

②川崎市内での中学生向け暴力防止プログラムについて、川崎市教育委員会と協働し、5 校 22 クラスの中学生約 800 人に提供することができた。

- ・5 月 27 日には、「始めよう 集まろう 川崎の中学校 5 校に暴力防止プログラムを実施するために、AKC (Action Kawasaki for Chugaku)」を川崎市総合自治会館で開催し、取り組みの紹介と寄付の呼びかけを行った。
- ・2 月 17 日には、4 度目となる「いのちキャンペーン」のイベントを開催し、川崎駅前と新百合ヶ丘駅前で寄付を呼び掛ける路上ライブを開催。これらにより、いのちキャンペーンとして 306,240 円の寄付が集まった。

③行政委託事業として、川崎市から委託を受け小学校 14 校、中学校 1 校で実施した。

④「母校に CAP を贈ろうプロジェクト」を開始し、寄付者が指定した横浜市内の小学校 1 校 2 クラス 70 人および教職員向けに CAP プログラムを実施した。

2. 年間ワークショップ数

160 回を実施。(計画は、164 回)

プログラム	対象	計画	実施
小学生プログラム	おとな向け(保護者)	18	16
	おとな向け(教職員)		
	子ども向け	55	47
中学生プログラム	子ども向け	24	24
	おとな向け(教職員・保護者)	6	6
就学前プログラム	おとな向け(保護者)	1	2
	子ども向け	2	3

CAP キャンペーン	子ども向け(小学生)	40	43
	おとな向け(保護者・教職員)	15	16
母校に CAP を贈ろうプロジェクト	子ども向け(小学生)	2	2
	おとな向け(教職員)	1	1
合計		164	160

※教職員向けは対象が教職員のための開催数とします。

3. 行政委託事業

川崎市教育委員会事業 小学校 14 校 40 クラス 中学校 1 校 6 クラス

4. 「1万人の子どもに CAP を届けるキャンペーン」

概要: 支援者からの寄付 1 万円で交通費等の経費を賄い、1 クラス(40 人まで)の子どもたちとその学校の保護者や教職員に提供する。受講した子どもが 1 万人に達した時点で終了する。(2014 年 9 月開始)

対象: 神奈川県内の小学校

クラスごとに子ども向け CAP プログラムを提供する。(1 学年のクラス数まで応募可能)

実施条件: 子ども向け CAP プログラムの他に、おとな向け(保護者または教職員向け)を実施する。

受講した子どもの感想を寄付者に贈ることに協力いただく。

実施校名・受講者数などをエンパワメントかながわの HP 等で公表する。

実績: 2018 年度は、以下の 16 校 43 クラスで実施。

本キャンペーン開始からこれまでに 7239 人の小学生が受講した。

- 5 月 14 日 開成町立開成小学校(4 年生 3 クラス)10 月 4 日保護者向け
- 5 月 21 日 横浜市立藤塚小学校(4 年生 2 クラス)5 月 18 日保護者向け
- 6 月 29 日 川崎市立宮崎台小学校(2 年生 4 クラス)6 月 19 日保護者向け
- 7 月 2 日 横浜市立東品濃小学校(5 年 3 クラス)同日保護者向け
- 7 月 4 日 横浜市立能見台南小学校(4 年 3 クラス)6 月 22 日保護者向け
- 7 月 9 日 横浜市立西寺尾小学校(4 年生 2 クラス)同日保護者向け
- 7 月 10 日 横浜市立日野南小学校(4 年生 2 クラス)7 月 23 日教職員向け
- 7 月 18 日 横浜市立さちが丘小学校(1 年生 4 クラス)9 月 28 日保護者向け
- 10 月 22 日 横浜市立霧が丘学園小学部(4 年生 3 クラス)同日保護者向け
- 10 月 25 日 平塚市立豊田小学校(3 年生 2 クラス)8 月 29 日教職員向け
- 12 月 3 日 横浜市立万騎が原小学校(3 年生 2 クラス)11 月 6 日保護者向け
- 12 月 6 日 平塚市立真土小学校(4 年生 3 クラス)7 月 25 日保護者・教職員向け
- 1 月 17 日 横浜市立山下小学校(3 年生 3 クラス)1 月 29 日保護者向け
- 2 月 12 日 三浦市立初声小学校(3 年生 2 クラス)同日保護者向け
- 2 月 14 日 横浜市立杉田小学校(3 年生 3 クラス)11 月 26 日教職員向け
- 2 月 15 日 横浜市立芹が谷小学校(3 年生 2 クラス)1 月 22 日保護者向け

決算：今年度にCAPキャンペーンに集まった寄付額は、544,250円。前年度期首残高287,963円と合わせて832,213円。今期590,000円を使用し、242,213円を翌期に使用することとする。
2014年9月以降2019年3月末までの総寄付額は3,482,213円となった。

5. 主催イベント

日時	タイトル・内容	会場	参加人数
5月27日(日) 13時30分～16時	「始めよう 集まろう 川崎の中学校5校に暴力防止プログラムを実施するために… AKC(Action Kawasaki for Chugaku)」	川崎市総合自治会館	30人
2月17日(日) 10時～11時 13時～14時	第4回いのちキャンペーン「川崎から愛をこめて」 路上募金活動	川崎駅前 新百合ヶ丘駅前	多数

II. デートDV予防・啓発事業



1. 主な活動実績

- ① 当団体が事務局を務めるデートDV防止全国ネットワークを法人化することとなり、8月26日に設立記念イベントを開催、11月1日にNPO法人として設立登記した。同ネットワークの設立について趣旨を説明し、賛同を得るために、全国6か所での地域フォーラムを開催。さらに、3月3日に7回目となる「デートDV防止スプリング・フォーラム2019」を開催した。
- ② 日本財団預保納付金助成事業として、「デートDV相談対応専門研修」の修了者を対象に研究コースをプログラム化し、2か所で実施した。研究コースの修了者の中から9名を「デートDV専門相談員」として認定した。
- ③ 日工組社会安全研究財団から助成を受け、「デートDV電話相談事業および電話相談員養成事業」を実施した。電話相談員養成講座では7名が修了した。また、年間505件の相談を受け付けた。
- ④ 男女共同参画センター横浜からの委託を受け、横浜市内中学校・高等学校に対し、30回のワークショップを提供した。
- ⑤ ワークショップの提供においては、かながわ男女共同参画センター、川崎市男女共同参画センター、東京都目黒区などから委託を受けて中学校・高等学校・大学で実施した。

2. 年間ワークショップ数

98回を実施。(計画は130回)

	対象	計画	実施
男女共同参画センター横浜	中学生向け	30	15
	高校生向け		13

	教職員向け		2
かながわ男女共同参画センター	高校生向け	5	1
	大学生向け		3
川崎市(男女共同参画センター・人権男女共同参画室)	高校生向け	3	2
	大学生向け		0
その他	中学生向け	18	2
	高校生向け		4
	大学生向け		4
	おとな向け(教職員等)	18	5
養成講座	相談員・実施者(基礎研修・中学生向け・高校生向け・大学生および教職員向け・フォーアアップ)・相談対応専門研修	46	46
リボン・プロジェクト	高校生向け	10	1
合計		130	98

3. 行政委託事業

①男女共同参画センター横浜「デートDV防止啓発」事業

公益財団法人横浜市男女共同参画推進協会(男女共同参画センター横浜)より委託を受け、横浜市内の中学校(13校)、高校(9校)、特別支援学校(1校)において生徒向けワークショップを、中学校2校で教職員向けを実施した。

②神奈川県立かながわ男女共同参画センター「デートDV防止講座」事業

かながわ男女共同参画センターより委託を受け、県内の高校1校、大学3校において、デートDV予防ワークショップを実施した。

③生徒向け行政委託事業

川崎市男女共同参画センターより委託を受け、高校2校においてワークショップを実施した。

茅ヶ崎市より委託を受け、大学1校においてワークショップを実施した。

東京都目黒区より委託を受け、中学2校においてワークショップを実施した。

宮城県石巻市より委託を受け、高校1校においてワークショップを実施した。

④おとな向け講演会および研修事業

山梨県、長野県塩尻市、東京都文京区から委託を受け、教職員向け等の研修を実施した。

4. 助成金事業

①公益財団法人日工組社会安全研究財団助成金事業「デート DV 電話相談事業および電話相談員養成事業」

電話相談員を養成するため、かながわコミュニティカレッジ連携講座として、電話相談員養成講座を開催し、7人が修了した。引き続き2回線対応で週2回(毎週火曜日夜3時間土曜日午後4時間)実施したところ、年間505件の相談があった。

決算:

収入	助成金	1,500,000	支出	人件費	816,000 (雑給他)
	参加費	144,000		通信費	323,098
	自己資金	54,637		謝金・交通費	167,000
				所費	392,539
<hr/>			<hr/>		
収入合計	1,698,637	円	支出合計	1,698,637	円

②WAM 独立行政法人福祉医療機構社会福祉振興助成事業「デート DV 防止全国ネットワーク構築事業」

2017年3月に設立宣言した「デート DV 防止全国ネットワーク」を、NPO 法人として2018年11月1日登記することができた。これに伴い、8月26日に設立記念イベントを行い、154人が参加した。全国6か所で開催した地域フォーラムには、総勢291人の参加があった。「10代の妊娠とデート DV」について調査研究し、「デート DV 白書 VOL.7」として発行した。ユースプロジェクトの合宿研修を2回行い、全国から延べ22名が参加した。

(1) デート DV 防止全国ネットワーク組織基盤づくり事業

- ① デート DV 情報発信サイト(<http://notalone-ddv.org/>)を大きく2回に渡り、リニューアルした。
- ② 4月1日第5回運営委員会、6月3日第6回運営委員会を開催し、NPO 法人化することを可決、運営委員の中から理事を募ること、代表を山口のり子とすること等を決めた。定款や事業内容の審議を経て、13名の理事、2名の監事が決まり、8月26日設立総会を開催した。事務局を置く横浜市よりNPO 認証を受け、11月1日に設立登記した。その後、11月11日に第1回、3月2日第2回理事会を開催した。
- ③ 8月26日設立記念イベントをオリンピックセンターにて開催し、154人が参加した。
- ④ 地域フォーラムを全国6か所(11月24日仙台、12月1日名古屋、12月2日岡山、12月10日埼玉、12月15日大阪、2月3日長崎)で開催し、総勢291人が参加した。
- ⑤ 地域フォーラムにて、ファンドレイジング講座を開催し、各団体の組織基盤強化を図った。

(2) デート DV 実態調査事業

文部科学省が「公立高校における妊娠を理由にした退学等に係る調査」結果を発表したことを受け、高校生が妊娠する背景を探り、デート DV 予防教育の必要性を、にんしん SOS 東京、群馬大学の協力を得て調査研究した。研究の成果を「デート DV 白書 VOL.7~10代の妊娠とデート DV」として発行し、かつデート DV 防止スプリング・フォーラム 2019 分科会にて、報告した。

(3) デート DV 啓発事業

デート DV 防止のために各地で活動するユースの連携を図るため、8月25・26日、および3月2・3日に合宿研修を行い、デート DV 防止スプリング・フォーラムにて成果を発表した。

決算:

収入	助成金	3,504,000	支出	諸謝金	965,000
	参加費	134,000		旅費	1,058,495
	自己資金	100		所費	1,614,605
<hr/>			<hr/>		
収入合計	3,638,100	円	支出合計	3,638,100	円

日時	タイトル・内容	会場	参加人数
8月26日(日) 13時～16時	デートDV防止全国ネットワーク設立記念シンポジウム	国立オリンピック記念青少年総合センター	154人
11月24日(土) 13時～17時	北海道・東北地区地域フォーラム	エル・ソーラ仙台	17人
12月1日(土) 13時半～16時半	中部地区地域フォーラム	名古屋YWCA	28人
12月2日(日) 13時～16時半	中国・四国地区地域フォーラム	岡山ウイズセンター	54人
12月10日(月) 13時半～16時半	関東地区地域フォーラム	ウイズユーさいたま	51人
12月15日(日) 13時半～16時45分	近畿地区地域フォーラム	大阪ドーンセンター	72人
2月3日(日) 13時半～16時半	九州地区地域フォーラム	長崎市アマランス	69人
3月3日(日) 10時～17時	デートDV防止スプリング・フォーラム2019	日本財団ビル	108人

③日本財団預保納付金にかかる助成金事業「デートDV専門相談員養成および防止体制構築事業」

デートDVに起因する犯罪被害を減らすために、予防教育を普及すると共に、被害者対応できる人材を増やしセーフティネットを広げることで、デートDV防止体制を築くことを目的とし、デートDV相談対応専門研修の修了者を対象に研究コースをプログラム化し、デートDV専門相談員の養成を始めた。また、デートDV専門相談員のモデル事業を実施し、ケース対応を行った。また、デートDV防止全国ネットワークと連携し、「デートDV防止スプリング・フォーラム2019」を開催した。

(1)デートDV専門相談員養成事業 デートDV相談対応専門研修(ABCD)の修了者を対象とした研究コース(EFG)を開発し、2か所で実施、11人が修了した。

(2)デートDV防止体制構築事業

①事業強化 事業収入確保を目的とし、facebook 広告を中心に、広報活動を行った。

②スキルアップ研修 研修内容の充実と講師のスキルアップを図るために、全8か所の外部機関の研修に、延べ17名が参加した。

③デートDV防止スプリング・フォーラムの開催 3月3日、第7回となるデートDV防止スプリング・フォーラムを日本財団ビルで開催し、108人が参加した。

決算:	収入	助成金	5,080,000	支出	諸謝金・人件費	2,478,103
		自己資金	38,974		交通費	869,896
					委託費	540,000
					所費	1,230,975
	<hr/>			<hr/>		
	収入合計		5,118,974 円	支出合計		5,118,974 円

日時	タイトル・内容	会場	参加人数
4月22日(日) 10時～17時	デートDV対応スキルを学ぶ基礎研修	協働ステーション中央	9人修了
6月10日(日) 10時～17時	デートDV対応スキルを学ぶ基礎研修	協働ステーション中央	8人修了
6月30日(土)・7月1日(日) 9時30分～16時30分	大学生・教職員向けデートDV予防プログラム実施者養成講座	ウイリング横浜	4人修了
7月14日(土)・15日(日)・16日(祝) 10時～17時	高校生向けデートDV予防プログラム実施者養成講座	協働ステーション中央・ かながわ県民センター	9人修了
7月28日(土)・29日(日) 10時～17時	デートDV相談対応専門研修(ABCD)	かながわ県民センター	7人修了
9月1日(土)・15日(土)・16日(日)・26日(水)・29日(土)・10月6日(土)	デートDV電話相談員養成講座(かながわコミュニティカレッジ連携講座)	かながわ県民センター	7人修了
9月2日(日) 9時30分～16時30分	デートDV対応スキルを学ぶ基礎研修	ウイリング横浜	10人修了
9月8日(土)・9日(日) 10時～17時	デートDV相談対応専門研修	協働ステーション中央	3人修了
10月7日(日)・8日(祝) 10時～17時	デートDV相談対応専門研修研究コース(EFG)	かながわ県民センター	7人修了
12月22日(日) 10時～17時	デートDV対応スキルを学ぶ基礎研修	かながわ県民センター	20人修了
12月23日(日)・24日(祝) 10時～17時	中学生向けデートDV予防プログラム実施者養成講座	かながわ県民センター	14人修了
1月19日(土)・20日(日) 10時～17時	デートDV相談対応専門研修研究コース(EFG)	協働ステーション中央	4人修了

④2017年度ファイザープログラム～心とからだのヘルスケアに関する市民活動・市民研究支援

「デートDVの実態から中堅世代の生きづらさと適切な支援方法を明らかにするための研究」事業
2017年の相談記録を分析し、中堅世代の男女の生きづらさとより適切な支援につなげるための方策を検討すると共に、相談員がアセスメント研修を受けたうえで再度相談記録シートの改訂を行った。

決算:

収入	助成金	1,680,000	支出	諸経費	372,271
	自己資金	0		人件費	1,307,729
	収入合計	1,680,000	円	支出合計	1,680,000
					円

Ⅲ. 各種人権啓発事業



1. 主な活動実績

①すきっぷ(子どもの護身法)プログラム

- ・横浜市西区より委託を受け、区内小学校1校4クラスで子ども向けプログラムを実施した。
- ・継続校2校での1年生、保育園1園での子ども、保護者向けプログラムを実施した。
- ・新規幼稚園1園で、子ども、保護者向けプログラムを実施した。
- ・逗子市市民協働課からの依頼で公開講座1回を開催した。
- ・横浜市緑区地域振興課からの依頼で「子ども向け防犯ワークショップ」として公開講座を1回開催し、さらに緑区内の防犯協会主催で1回実施した。

②特別支援学級に通う子どもへの暴力防止(ほっと)プログラム

- ・知的障がいのある子ども向け入所施設で、小学生向けと中高生向けを実施した。中高生にはデートDV防止をテーマに取り入れた。

③子育てがラクになるワークショップ

- ・東京都中央区との協働事業として、区内子育て支援拠点3か所にて、保護者向け7回および職員向け1回を実施した。
- ・母子生活支援施設、大磯町立小学校PTA主催講座として実施した。

④虐待予防の保育士研修

- ・東京都、市原市からの行政依頼、企業、民間団体から依頼を受け、保育士向けの研修5回を実施した。

⑤各種人権啓発プログラム

- ・神奈川県教育委員会から委託を受け、高校および特別支援学校の教職員向けの人権研修を実施した。
- ・川崎市男女共同参画センターからの委託を受け、女性のためのサポートグループ相談事業にて5回事業を実施した。
- ・下記から依頼を受け子どもの人権を守るための研修を実施した。
県立高校でのいじめ防止ワークショップ(8クラス)・定時制高校でのコミュニケーションワークショップ(2クラス)
- ・行政からの依頼を受け、人権研修を実施した。
鎌倉市、吉川市(埼玉県)、久喜市(埼玉県)、長野県(5回)
- ・企業からの依頼を受け、セクハラ防止研修を実施した。(横浜市)

⑥高校カフェ/コーディネーター派遣

- ・多文化共生ネット神奈川の委託を受け、県立川崎高校19回、相模向陽館高校21回、スタッフを派遣した。

2. 年間ワークショップ数

103回(カフェを含む)を実施。(計画は、61回)

		計画	実績
すきっぷプログラム	子ども向け 保護者向け	25	22
ほっとプログラム	子ども向け、職員向け等	2	2
子育てがラクになるワークショップ	保護者向け、職員向け	9	9
その他各種人権プログラム	教職員等(サポートグループを含む)	22	26
	EK セミナー	3	3
高校カフェコーディネーター派遣		0	41
合計		61	103

3. 行政委託事業

①神奈川県教育委員会校内人権研修事業

神奈川県教育委員会から委託を受け、高校および特別支援学校の教職員向けの人権研修として参加体験型研修を13校14回実施した。

②女性のためのサポートグループ相談 委託事業

川崎市男女共同参画センターすくらむ21からの委託で、パートナーとの関係に悩む女性を対象とした、全5回のサポートグループを運営した。参加者延べ15名が参加した。

決算:

収入	委託金	220,000	支出	諸謝金	126,000
	自己資金	16,013		交通費	24,730
				所費	31,283
収入合計		236,013 円	支出合計		236,013 円

4. 主催イベント

エンパワメントかながわ活動報告会(EK セミナー2018)

日時	タイトル・内容	会場	参加人数
7月8日(日)	子どもの護身法公開講座 親子で参加!	ウィリング横浜	子ども12名 おとな19名
8月23日(木)	みんなで語ろう! 「子どもが学校に行きたくない」といったら… どうする?	かながわ県民センター	10名
9月11日(火)	しかくって、本当に必要? 一緒に見えないを味わってみませんか?	かながわ県民センター	12名

IV. 広報事業

1. ホームページとの連携による情報発信

- ・団体 HP と啓発サイトの最新ニュースを随時更新し、そのニュースを Facebook ページ、インスタグラム、twitter 等の SNS と連携することで発信の拡大を行った。
- ・月 1 回のメルマガを HP のニュースと連携させ、第 24 号～第 36 号を購読者へ配信した。

2. 集客と寄付獲得のために WEB 広告を活用

- ・Facebook 広告と Google Ad Grants (Google for Nonprofits プログラムとして NPO 対象に Google 広告費を助成) により講座やイベント告知行い、集客につながった。Google 広告は 2018 年度 \$982.83 の助成を受けた。
- ・団体 HP 上に「実施者養成講座」「CAP キャンペーン」「いのちキャンペーン」に加え「デート DV 相談対応専門研修」のランディングページを作成。広告との連携により開催を広く告知し、参加者の獲得にもつながった。

3. メディア掲載

日刊紙、フリーペーパー、情報サイト等の各メディアからの取材を受け、掲載された。

- ・エンパワメントかながわのイベント等
掲載紙: タウンニュース、朝日新聞、しんぶん赤旗、東京新聞
- ・取材協力、監修等
掲載メディア: ヤフーニュース、Suits-woman.jp、産経新聞、anan

4. 啓発サイトの運営

- ・デート DV110 番相談サイトの最新ニュース欄にデート DV に関するイベント告知等の情報を発信した。
- ・2018 年 3 月 28 日よりリニューアルした、デート DV 予防啓発サイト「それってデート DV なんじゃない？」のニュースの更新作業を行った。
- ・デート DV 情報発信サイト「notAolne」の投稿ページの更新作業を行った。

<アクセス数> ページビューよりカウント

サイト	2018年度	2017年度
団体ホームページ	48,976 件	49,578 件
デート DV110 番相談サイト	30,301 件	24,021 件
それってデート DV なんじゃない	27,352 件	5,695 件(旧サイト)⇒10 年間 37 万件

5. デート DV 予防啓発のためツール制作の依頼を受け作成

- ・相模原市より「デート DV 予防啓発カード」15,000 枚
- ・東京都中野区より「びいまいせるふ」1,300 部
- ・東京都足立区より「デート DV の基礎知識」4,000 部
- ・長野県塩尻市より「びいまいせるふ」1,000 部
- ・国分寺市より「デート DV の基礎知識」1,600 部

6. 県内外のイベントで団体を紹介

「デート DV 防止スプリング・フォーラム 2019」および「かながわボランティアフェスタ 2019」の団体紹介ブースにて展示、冊子販売、チラシ配布等を行った。

V. リボン・プロジェクト



1. 趣旨

暴力のない社会を目指していくために、エンパワメントかながわが特に必要であると考えた子どもたちにワークショップを提供していく「リボン・プロジェクト」。趣旨に賛同してくださった方からの寄付金、会員の意思で捻出した資金等を活用する。団体 HP に実施報告を掲載し、広く知らせる。

2. 実施報告

①母子生活支援施設での暴力防止プログラムの提供

母親と一緒に入所している小学生に CAP プログラム、中学生にデート DV 予防プログラムを提供した。一人ひとりが大切な人、自分の安心について一緒に考えることができた。保護者に対しては子育てがラクになるワークショップを実施した。

日時： 8 月 16 日(木)子ども向け(小学生および中学生対象)

8 月 18 日(土)おとな向け(保護者対象)

場所：神奈川県内母子生活支援施設

参加者：[小学生] 6 名(女子 4 名、男子 2 名)、職員 2 名

[中学生] 1 名(中3男子)職員 2 名

[おとな向け]保護者 3 名

支出：16,189 円

②高校生(定時制)へのデートDV予防プログラムの提供

デート DV 予防プログラム(50分×2回)を実施することにより、高校生一人ひとりに「あなたはとっても大切な人」であることを伝え、寸劇を通して、人と人とお互いに大切にしよう(尊重しよう)関係であるためにできることを考えることができた。

日時：2018 年 10 月 9 日

場所：神奈川県内高等学校

参加者：高校 2 年生 70 名

支出：13,545 円

VI. 事務局

1. 2018年10月横浜市に、認定NPO法人更新の申出を提出し、2019年4月1日から2024年3月31日まで認定有効期間が更新された。
2. 2018年度賛助会費は個人68口、団体2口、正会員は25名となった。
3. 毎月1回事務局会議を開催した。
開催実績 4月16日、5月8日、6月7日、7月5日、8月1日、9月6日
10月3日、11月8日、12月7日、1月11日、2月8日、3月5日、21日
4. 毎月1回ビジョンミーティングを開催した。
開催実績 4月11日、5月9日、6月15日、8月2日、9月10日、10月9日、
11月19日、平成31年2月6日、3月13日
また、ビジョンワークショップを開催した。
2018年4月19日、4月20日
5. 理事会開催実績
5月27日 第1回理事会 川崎市総合自治会館 小会議室
7月8日 第2回理事会 かながわ県民センター 603号室
10月17日 第3回理事会 かながわ県民センター 703号室
1月6日 第4回理事会 かながわ県民センター 707号室
4月7日 第5回理事会 かながわ県民センター 11階コラボスタジオ
6. 表彰
チャンピオン・オブ・ザ・チャレンジ日本大賞 ファイナリスト入賞 阿部真紀
11月12日表彰式。
横浜市男女共同参画貢献表彰功労大賞 認定NPO法人エンパワメントかながわ
横浜市市民活動支援センターから推薦。1月21日表彰式。